

2016年11月17日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直  
(東証第1部 証券コード: 4324)

**電通、米国の多文化対応型の総合広告会社  
「グラビティー・メディア社」の株式100%取得で合意**

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、米国において多文化に対応した広告コミュニケーション・サービスを提供する総合広告会社「Gravity Media, LLC」（本社：ニューヨーク市、CEO: Yuriy Boykiv、以下「グラビティー・メディア社」）の親会社である Findr Group（ファインダー・グループ）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

2009年にPR会社としてスタートしたファインダー・グループは、現在では3つの企業からなるグループへと成長しています。多文化・多言語のクリエイティブに対応する総合広告会社「Gravity Media」（グラビティー・メディア社）、総合デジタルエージェンシーの「Findr Interactive」（ファインダー・インタラクティブ社）、PRサービスを提供する「Triumphant Communications」（トリオンファント・コミュニケーションズ社）の3社です。

グラビティー・メディア社が基幹エージェンシーとしての役割を担い、専門性の高いデジタルとPRの領域を担う他の2社と連携することで、顧客企業に高品質なサービスを提供しています。

本件買収の背景には、米国における人口構成の変化とそれに伴う顧客企業ニーズの高まりがあります。具体的には、米国は多文化で成り立っており、米国国勢調査局の推計によると2030年には人口に占める多文化層の割合は更に増加し、4割に達すると見られています。そのため、顧客企業からはこれまで以上に、多様な文化背景を持つ生活者にきめ細かく対応したサービスの提供が求められています。

当社ではこうした状況を踏まえ、多文化向けの広告コミュニケーションに定評のあるグラビティー・メディア社を買収することにしました。

グラビティー・メディア社は、米国を代表する業界誌『Advertising Age』で2013、14、15年と3年連続で、アジア系アメリカ人向けのサービスで最大の売上を誇る企業と評価されています。また同社は20カ国以上の言語に対応できる人材をそろえています。

今後当社は、米国に展開するグループ各社とグラビティ・メディア社など3社との連携を図っていくことで、米国における成長戦略を加速させていきます。

なお、本件が当社の2016年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

#### 【グラビティ・メディア社の概要】

社名 : Gravity Media, LLC  
親会社のファイナダー・グループは、Gravity Media、Findr Interactive、Triumphant Communications の3社で構成されている

本社所在地 : 米国・ニューヨーク市  
ロンドン市にも営業拠点を構える

設立 : 2009年5月

株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%

収益(Revenue) : 700万ドル(約7.6億円)(2015年12月期)

代表者 : Yuriy Boykiv(創業者兼CEO)

従業員数 : 33名

事業内容 : 多文化に対応した広告コミュニケーション・サービスを提供

以上

#### 【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション室 広報部  
長澤、謝 TEL : 03-6216-8041